

# 令和7年度 海陽町南海トラフ地震臨時情報に伴う対応方針改訂業務 仕様書

## 1. 目的

本町は、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合への対応方針を定めた「海陽町南海トラフ地震臨時情報に伴う対応方針」（以下「本町臨時情報対応方針」という。）を令和2年3月に策定した。

本業務では、『南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン【第1版】.令和3年5月（一部改訂）』（以下「国のガイドライン」という。）等、令和2年3月以降に見直しのあった国や徳島県の関連計画、法律、ガイドライン等の内容を踏まえた修正を行うとともに、住民事前避難対象地域及び高齢者等事前避難対象地域の見直しを行い、本町臨時情報対応方針の改訂を行うことを目的とする。

## 2. 業務概要

- 1) 計画準備
- 2) 資料収集・整理
- 3) 海陽町南海トラフ地震臨時情報に伴う対応方針の改訂
- 4) 打合せ協議
- 5) 報告書作成

## 3. 業務内容

### 1) 計画準備

本業務の目的・内容、履行期間等を考慮し、国・県が進める計画、本町関連計画等を参考に、業務方針・業務内容・業務工程等の検討を行い、業務計画書を作成する。

### 2) 資料収集・整理

本業務を履行するために必要な関連計画等の資料を収集・整理する。  
なお、海陽町に関する資料については、本町より貸与する。

### 3) 海陽町南海トラフ地震臨時情報に伴う対応方針の改訂

#### ①関連計画・法律・ガイドライン等を踏まえた修正

関連計画・法律・ガイドライン等の改訂内容や、収集・整理した資料を基に、本町臨時情報対応方針の改訂すべき箇所を明らかにし、計画全体の改訂を行う。

## ②津波避難シミュレーションの実施

住民事前避難対象地域及び高齢者等事前避難対象地域について、海陽町津波避難計画（令和3年7月改訂）で示された避難困難地域等との整合性を図りつつ、国のガイドラインに準拠し、見直しを行うものとする。そのため、住民事前避難対象地域は「令和2年度 海陽町津波避難計画改訂委託業務」の際に実施された津波避難シミュレーションの結果を基に設定する。また、高齢者等事前避難対象地域は、要配慮者等の避難速度を考慮した津波避難シミュレーションを実施し、抽出するものとする。なお、検討における社会条件（人口分布等）は、「令和2年度 海陽町津波避難計画改訂委託業務」と同様とする。

## 4) 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時、中間（2回）、成果納品時に実施する。

また、業務の進捗状況に合わせて、適宜打合せ協議を行い、その都度議事録を作成する。

## 5) 報告書作成

業務の目的を踏まえ、作成された成果を基に、業務の方法・過程・概要について記した報告書を作成する。

## 4. 工期

業務契約締結の日から令和8年3月31日まで

## 5. 成果品

- ・ 報告書  
数量：1部、仕様：チューブファイル等
- ・ 海陽町南海トラフ地震臨時情報に伴う対応方針  
数量：2部、仕様：A4縦サイズ、一部カラー印刷、簡易製本
- ・ 電子データ（報告書、海陽町南海トラフ地震臨時情報に伴う対応方針）  
数量：1部、媒体：CD-R等